

経営協議会委員からの意見等への取組状況

(平成 25 年度)

回	年月日	学外委員からの意見等	大学の取組状況	備考
42	平成 25 年 3 月 26 日	<p><議題>平成 25 年度年度計画原案について</p> <p>附属病院のパートナーシップに基づく地域連携に係る計画として、「地域関連病院と情報共有を行うシステムの利用拡充を図り、在宅・検診患者の情報提供等と連携させるシステムを開発し、試行を行う」とある取組については、高齢化の進む高知県において、中山間地域のみならず、市街地においても、住みやすい地域となるために重要な取組であるが、平成 25 年度はどの地域における試行を計画しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関との在宅医療に関する連携を強化するため、「高知ヘルスシステム（本院と地域医療機関との間でパートナーシップを深めるための協定）」について、南国市・嶺北地区の医師会に説明を行った。 ・高知市内の市街地で在宅医療を主に行っている医療機関に赴き、「高知ヘルスシステム」について説明し、三カ所（ネクストホームクリニック、かもだの診療所、こうち在宅医療クリニック）の医療機関から加入の承諾を得た。 	
43	平成 25 年 6 月 25 日	<p><議題>平成 24 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について</p> <p>県内自治体との連携に関し、高知市との連携を例に、自治体にとっても大学との連携事業は重要であり、今後も連携を深めていただきたい。</p>	<p>高知大学では、平成 25 年度より文部科学省の補助金を受けて、本学が高知県と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進めていく取組（「高知大学インサイド・コミュニティ・システム (KICS) 化事業」）の推進を図っている。</p> <p>KICS 化事業では、県内各所に、地域の課題の掘り起しや課題解決のアドバイスをを行う教員 (UBC) を常駐することとしており、既に高知市地域・安芸地域には UBC を配置している（平成 26 年度には嶺北地域・幡多地域に配置予定）。各地域に常駐する UBC が地域と本学との連携に携わることにより、公開講座や土佐 FBC などの既存の取組も含めて、関係機関との連携が今まで以上に密になる。</p>	

<p><議題>平成 24 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について</p> <p>海洋コア総合研究センターについて、研究上重要な施設であるが、電力等を多く使用する施設でもあることから、現在計画されているセンターの増築整備等に際し、節電等「省エネ対策」への配慮も必要ではないか、どのような計画であるか。</p>	<p>海洋コア総合研究センターにおいては、以下のような「省エネ対策」を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の外周部からの熱負荷の低減対策として、外壁・屋根面に、ウレタンフォーム等の断熱層を設けている。 ・アルミサッシ窓への遮熱複層ガラスの採用等、建物の断熱性を高めることにより、空調機などの建築設備の負荷を抑制。 ・自然光を積極的に取り入れ、照明エネルギーを削減。 ・設置する機器類においても、空調機器は施設や部屋の特性に合わせた高効率なものを採用。照明は LED など高効率なものを採用し、人感センサーを設置。さらに平成 26 年度中には、太陽光発電設備を設置することとしている。 	
<p><議題>病院医療事務の直営化について</p> <p>病院運営にとって重要な医療保険請求等の医療事務に従事する職員には、高い専門性が必要であり、また医学部附属病院の職員としてスペシャリストを養成していくことは重要である。</p>	<p>平成 26 年 4 月 1 日から病院医療事務の直営化等を実施。</p> <p>【病院事務職員の採用（直営化）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 常勤職員（病院事務） 平成 26 年度 6 名 2. 非常勤職員（病院事務）平成 26 年度 28 名 <p>【職員のキャリア形成のため研修等を実施】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医事課職員育成研修の実施 <ol style="list-style-type: none"> ① 基本となる受付業務の習得 ② レセプトのベースとなる会計業務の理解 ③ 一般的病名およびテクニカルな病名登録の理解 ④ レセプト請求業務の理解 ⑤ 施設基準の理解 2. 定期的に診療科医局のカンファレンスに参加し情報交換することで専門知識の向上を図る。 3. 医療現場とのコミュニケーションを密にし精度の高い診療請求を 	

			<p>実現する能力の向上を図る。</p> <p>4. データベースやプログラミングの技術を習得し、診療情報管理士の資格を取得することで、医療系の専門的なIT技術者として活躍の場所を広げていく。</p>	
45	平成 25 年 9 月 24 日	<p><議題>平成 25 年度「地（知）の拠点整備事業」（事業名：高知大学インサイド・コミュニティ・システム（KICS）化事業）について</p> <p>高知県においては、1つの事業に各機関が協力して取り組むことが重要である。出来る限り協力して事業に取り組んでいただきたい。</p>	<p>KICS 化事業を推進するうえで、高知県には連携自治体として、また、高知工科大学、高知工業高等専門学校、高知学園短期大学、放送大学高知学習センターには協力機関としてご協力を頂いている。</p> <p>具体的には、高知県からは、高知県地域社会連携推進部本部への参加、高知大学サテライトオフィスの無償提供、全国向けシンポジウムでの知事からの挨拶、県内向けシンポジウムの講師、土佐 FBC 専門講座設置などのご協力を頂いている。また、各協力機関からは本学主催の地域志向研究報告会への講師派遣や本学外のシーズ提供などのご協力を頂いている。</p>	
		<p><議題>戦争遺跡「旧高知海軍航空隊通信所跡」の保存及び上部土地の活用に関する基本方針について</p> <p>大学の基本方針として良い結論である。今後可能であれば、戦争遺跡に関する案内板の設置について検討願いたい。</p>	<p>今後、戦争遺跡に関する案内板を遺跡の入り口付近4カ所に設置する予定。</p>	
47	平成 26 年 1 月 21 日	<p><議題>非常勤コメディカル職員の常勤化について</p> <p>高知県においてはコメディカル職員の確保が非常に厳しい状況であり、コメディカル職員の待遇改善等は重要である。</p>	<p>平成 26 年 4 月 1 日から非常勤コメディカル職員の常勤化を実施。</p> <p>○ 非常勤コメディカル職員の常勤化</p> <p>非常勤職員としての雇用では、優秀な人材が確保できない診療放射線技師、栄養士、及び理学療法士等(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)について、8名を常勤化。</p>	